

mFOLFOX6 ± Cet療法 (2週毎)

医薬品名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
<i>d</i> -クロルフェニラミン注* ¹	5mg	30分	↓							↓						
デキサメタゾン注	6.6mg															
セツキシマブ注	* 2	1時間* ²	↓							↓						
パロノセトロン注	0.75mg	30分	↓													
オキサリプラチン注	85mg/m ²	2時間* ³	↓													
レボホリナート注	200mg/m ²	2時間* ³	↓													
フルオロウラシル注	400mg/m ²	5分	↓													
フルオロウラシル注	2400mg/m ²	46時間	↓													

*1：前立腺肥大症、緑内障の患者さんには、*d*-クロルフェニラミン注の代わりにエピナスチンやピラスチンを使用。

*2：初回は400mg/m²、2回目以降は250mg/m²。速度は別途指示あり。

*3：同時に投与

■副作用への対応

- 末梢神経障害 ----- 冷感刺激を避けること（特に点滴後5日間程度）。（オキサリプラチン）
- 皮膚乾燥 ----- 治療が進むにつれて乾燥と掻痒感が強くなる可能性があるため、開始と同時に市販薬の保湿剤を使用して保湿を開始する。（セツキシマブ）
- にきび様ざ瘡----- 顔や前胸部などに皮疹が出現するので、出現時には部位に応じたステロイド軟膏を保湿剤を塗布した上から塗布する。（セツキシマブ）
- 悪心嘔吐、食欲不振 ----- 食事が摂りづらい時は、食べられるもの、好きなものを少しずつでも食べる。水分を摂るようにする。
- 便秘 ----- 点滴後1週間は便が出にくくなる可能性があるため、排便記録をつける。便秘薬が処方されている場合は使用する。
- 下痢 ----- 点滴後2週目以降に便が緩くなる可能性があるため、排便記録をつける。
- 口内炎 ----- 予防のために食後の歯磨き、頻回（8回/日以上）のうがいをする。
- 好中球減少 ----- 感染症予防のために、外出だけでなく自宅で過ごす時も手洗い・うがいを頻回（8回/日以上）に行う。
- 電解質異常 ----- マグネシウムが低値になる可能性がある。（セツキシマブ）